

電子情報科学専攻	研究分野	信号処理	Lab. ID EC05
研究室Webサイト	<a href="http://horita.w3.kanazawa-u.ac.jp/">http://horita.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a>		
<b>研究課題の概要</b>			
<p>コンピュータや情報通信技術の発展に伴い、デジタル信号処理は身近な技術になってきました。その中で、処理対象となる信号の統計的な特徴の変動に追従する適応信号処理は、音声・音響信号処理や通信システムなどで重要な役割を果たしています。本研究室では、適応信号処理を中心にデジタル信号処理に関する研究を行っています。</p>			
<b>博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等</b>			
<p>M1では、標準の授業に加えて、全員で、信号処理のゼミを行います。使用する参考文献は英語の文献も含まれます。M2の4月にそれぞれの大学院生と担当教員で面談を行い、修士論文のテーマ、修士修了後の進路、就職活動の状況等について説明してもらいます。この面談に基づいて、定期的に研究の進捗状況の確認を行い、修士修了へ向けて指導を行います。</p>			
<b>研究室生活の紹介等</b>			
<p>一人1台のパソコンが与えられ、信号処理用のソフトウェアとしてMATLABが各自利用できます。また、研究室のDSPシステムにより、リアルタイム信号処理を実現することもできます(教員)。</p>			
<b>教員からのメッセージ</b>			
<p>当研究室では、学生が自主的に研究を進めていくという前提で考えているため、教員は大学院生の研究結果を尊重して適切な指導を行います。なお、堀田講師は電子情報通信学会とIEEE(米国電気電子学会)の両方のシニア会員であり、国内外の信号処理研究者から専門家として認定を受けています。</p>			
<b>最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目</b>			
修了年月	タイトル		
2013.3	A stochastic analysis of a leaky RLS algorithm for an ANC system (能動騒音制御システムのためのリークRLSアルゴリズムの確率的解析)		
2013.3	時変正則化項を導入した leaky RLS アルゴリズムに関する研究		
2013.3	A study on characteristics of leaky RLS and its approximation algorithms for an ANC system (能動騒音制御システムのためのリークRLSとその近似アルゴリズムの特性に関する研究)		
<b>最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目</b>			
修了年月	タイトル		
研究室連絡先メールアドレス	堀田英輔 <horita *at* se.kanazawa-u.ac.jp>		